

会 員 各 位

茨城県歯科医師会

会 長 榎 正幸

学術部長 今湊 良証

(公 印 省 略)

### 学術シンポジウムのご案内

猛暑の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、茨城県歯科医師会では下記の通り「歯科開業医に必要な口腔外科」と題したシンポジウムを開催することになりましたのでご案内申し上げます。

講演 1 では、歯の移植を成功に導くための術式と予後に影響を与える因子について、口腔がんを早期に発見するために必要な知識と診査する時の注意点について、講演 2 では、低侵襲な局所麻酔薬の注射法、また下歯槽管に接触している下顎智歯の抜歯において歯冠切除のみを行い、歯根をそのまま残留させる抜歯法の具体的な術式と長期成績について、さらには、顎関節症と顎関節脱臼の最新知見についてと盛りだくさんの内容です。なお、ソーシャルディスタンスのため会場参加定員を 50 名としておりますが、Web 受信参加も可能ですのでこの機会を見逃すことなく万障お繰り合わせの上ご参加願います。

#### 記

テーマ： 歯科開業医に必要な口腔外科

日 時： 令和 3 年 10 月 17 日（日曜日） 9：00～13：00

場 所： 茨城県歯科医師会館 3 階講堂 （Web 受信受講可能）

講 演： 「歯科開業医に必要な口腔外科」

【テーマ 1】 歯の移植を成功させるためのポイント（60 分）

【テーマ 2】 口腔がんを早期発見するための口腔内診査（30 分）

新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野 小林 正治教授

【テーマ 3】 低侵襲局所麻酔と下顎智歯歯冠切除術（30 分）

【テーマ 4】 顎関節症と顎関節脱臼（60 分）

愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座 栗田 賢一名誉教授

【ディスカッション】 東京医科大学茨城医療センター歯科口腔外科 松尾 朗教授

茨城県歯科医師会学術部長 今湊 良証

募集人数： 会場参加者定員 50 名（Web 受信参加者 定員なし）

対 象： 茨城県歯科医師会会員、

会員歯科医院勤務者（歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士）、他

◆ 講演抄録 ◆

【講演 1】 歯科開業医に必要な口腔外科

テーマ 1：歯の移植を成功させるためのポイント（60 分）

テーマ 2：口腔がんを早期発見するための口腔内診査（30 分）

新潟大学大学院総合研究科組織再建口腔外科学分野 小林 正治



歯の移植は、移植歯の歯周組織が良好に治癒し再生すれば、正常歯と同様の機能を果たすことが可能であり、有用な治療法であります。1950 年代より歯根未完成歯の移植の報告がなされ、歯根完成歯移植は 1980 年代より報告されてその予後因子が検討されてきました。本講演では、歯の移植を成功に導くためにわれわれが行っている術式と、予後に影響を及ぼす因子について解説いたします。

口腔がんによる死亡数ならびに死亡率は、1990 年代以降に急激に増えています。口腔がんの発見は、直接口腔内を診察する機会を持つ歯科医師によってなされる場合が最も多く、歯科医師が口腔がん患者の救済に大きな役割を果たしており、同時に責任の重大さも示していると言えます。本講演では、口腔がんを早期の段階で発見するために必要な知識と、口腔内を診査する時の注意すべき点についてお話しいたします。

略歴

- 1983 年 新潟大学歯学部歯学科卒業
- 1987 年 新潟大学大学院歯学研究科修了
- 1987 年 新潟大学歯学部附属病院第一口腔外科 助手
- 2001 年 新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野 助手
- 2003 年 新潟大学医歯学総合病院口腔外科 講師
- 2003 年 Marienhospital Stuttgart 顎顔面口腔外科客員歯科医師
- 2008 年 新潟大学医歯学総合病院口腔外科 病院准教授
- 2013 年 新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野 教授

日本口腔外科学会理事・専門医・指導医、日本口腔科学会理事・認定医・指導医

日本顎変形症学会理事、日本睡眠歯科学会理事・認定医・指導医

日本顎関節学会専門医・指導医、日本口腔内科学会専門医・指導医

日本顎顔面インプラント学会指導医

## 【講演 2】 歯科開業医に必要な口腔外科

テーマ 3：低侵襲局所麻酔と下顎智歯歯冠切除術（30 分）

テーマ 4：顎関節と顎関節脱臼（60 分）

愛知学院大学歯学部名誉教授 栗田 賢一



歯科治療で局所麻酔は開業医の日常診療の中で避けることができません。しかし時に全身的合併症を起こすので注意が必要です。特に超高齢社会で多い循環器疾患患者には歯科治療中に高血圧、頻脈、不整脈の悪化により生命に直結する合併症を起こすので更に注意が必要です。本講演ではその具体例を示し、低侵襲な注射法を紹介します。また、下顎智歯が下歯槽管に接触している場合には抜歯により下歯槽神経損傷を招く可能性があります。近年こうした症例に対して歯冠切除のみを行い、歯根をそのまま残留させる抜歯法が注目されています。私は 2005 年以後 557 例に歯冠切除術を行ってきましたのでその合併症と長期成績を紹介します。

顎関節症も開業医に受診する疾患です。顎関節症治療の指針が 2020 年に改変されました。顎関節疾患は私のライフワークでありますので、私の 35 年間の顎関節症治療研究を加えて解説します。また、超高齢社会になり、今までに少なかった顎関節脱臼も増えていますので、私の考案した治療法についてもお話しします。

### 略歴

1975年 3月	愛知学院大学歯学部歯学科卒業
1975年 4月	愛知学院大学歯学部口腔外科学第二講座入局
1984年12月	歯学博士取得（愛知学院大学）
1985年 3月	愛知学院大学歯学部講師（口腔外科学第二講座）
1987年 8月～1988年 9月	ルンド大学（スウェーデン）歯学部放射線学教室へ留学
1993年 5月	愛知学院大学歯学部助教授（口腔外科学第二講座）
1998年 3月～2020年 3月	愛知学院大学歯学部主任教授 （顎口腔外科学講座：旧口腔外科学第一講座）
2005年 1月～2016年12月	アジア口腔顎顔面外科学会総務理事
2005年 1月～2018年12月	国際口腔顎顔面外科学会理事
2012年10月～2016年11月	公益社団法人 日本口腔外科学会理事長
2012年11月～2016年11月	日本歯科医学会常任理事
2015年 4月～2020年 3月	学校法人大阪歯科大学客員教授
2017年 4月～2020年 3月	愛知学院大学歯学部学部長
2020年 4月～2021年 3月	名古屋市立大学客員教授
2021年 4月～	愛知学院大学名誉教授
研究・専門分野	顎関節疾患、口唇口蓋裂、抜歯
発表論文	435編

### 国内外の功績・功労賞

名誉会員授与	2002年 1月27日	フィリピン口腔顎顔面外科学会名誉会員
	2020年12月 6日	日本顎顔面インプラント学会名誉会員
受賞	1994年 7月 7日	1994年度日本顎関節学会学会賞（学術奨励賞）受賞
	2011年 4月23日	第52回大韓口腔顎顔面外科学会ポスター賞
	2017年 4月 2日	国際口腔顎顔面外科学会 理事長賞

Presidential Citation Award

事前質問： 今回のシンポジウムに関連する事前質問を募集いたします。  
学術委員会メールアドレス 《 [id-01-gakujutu@ibasikai.or.jp](mailto:id-01-gakujutu@ibasikai.or.jp) 》までお願いします。

問い合わせ先： 学術部長 今湊良証

Phone：0296-72-7737 e-mail： [id-01-gakujutu@ibasikai.or.jp](mailto:id-01-gakujutu@ibasikai.or.jp)

◆ 申し込み方法 詳細 ◆

《Web 受信参加希望》及び【会員外】

下記 URL 又は QR コードからの申込フォームで、9月30日までにお申込みください。  
また、茨歯会 HP にこちらの案内を掲載しますので、そちらからも読み取りいただけます。  
後日、受講に関する案内メールをお送りし、通信テストのご案内をいたします。

URL <https://forms.gle/xMYL43MTVXV6qS3T8>



《会場参加希望》【茨歯会会員及び会員歯科医院勤務者のみとします】

茨歯会事務局へ下記申込用紙を用い FAX（029-253-1075）にて申し込みください。

10月17日（日曜）学術シンポジウム参加申込用紙

シンポジウムを会場で参加したく申し込みます。

令和3年 月 日

- ・氏名
- ・所属（勤務先名）
- ・所属（地区名）
- ・住所：〒
- ・Phone：
- ・Fax：
- ・E-mail：

茨城県歯科医師会 事務局 FAX：029-253-1075